

福山港本航路地区航路整備事業

昭和38～45年度の本航路(水深16m、幅350mの航路)の一部埋没による船舶の積載貨物量を減じる喫水調整を解消するため、平成17年度より機能回復のための浚渫事業を実施し平成21年12月に完了し供用を開始した。

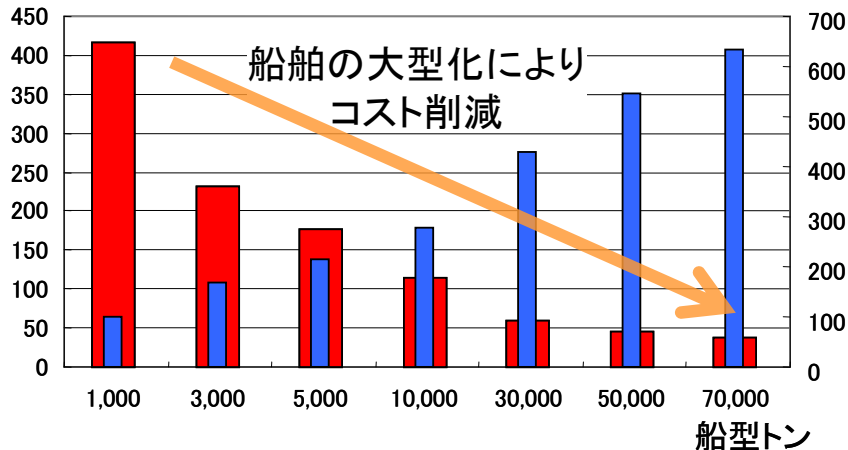
●事業の目的: 競争力のある地域経済社会の再構築

○産業競争力強化のために、原材料(鉄鉱石、石炭等)、エネルギー資源等の海上輸送を効率化するなど、シームレスな輸送ネットワークを確立する。



海上輸送費

万円/日



1トン当たり単価

円/日・トン



●期待される整備効果

○貨物の積載効率が向上し、物流コストが削減される。
 (船舶の積載効率の向上による物流コスト削減 年13億円)
 よって港湾背後に立地する主要企業の国際競争力が確保され、我が国の産業及び経済の振興、雇用の確保が期待される。